



2024 MOKELE MBE MBE PROJECT

貝原浩「風しもの村 チェルノブイリ・スケッチ」展

1986年チェルノブイリ原発事故によって放射性物質の「風しもの」になったベラルーシの村々。
それまでどおりの土と生きる生活を続けていた人々のもとを訪れた貝原浩は「風しもの村」を描きました。

2024年5月22日(水)～6月2日(日) *29日は休み

12時～17時まで 入場無料 (ワンオーダーお願いします)



「いまなを、高濃度の放射能汚染数値を示す村の入口には立ち入り禁止の立札が人の入るのを拒み続けている。ところがほんの数百メートルも離れていない村では、子ども達が遊び回り、畑では、馬を使って耕作が始まっている。地図の上でいくら汚染地として囲んだところで、風は舞うし流れる川は止まってはくれない。土ぼこりはといえ、もうはるか遠くにまい上ってしまう。ポイントのようにみえる汚染され、立ち退かされた「廃墟の村」だけでなく周囲の村々にも、徐々に汚染は広がってゆくことはさけられない。」(貝原浩)

■ トークイベント 5月26日(日) 14時～16時 参加費：1,000円要予約 ■

「ベラルーシの人々の暮らし～原発事故から現代～」 ツアゲールニック タッチヤナ

虹のしつぽ hot cafe ほつぺた館 札幌市南区簾舞4条3-4-25

tel&fax 011-206-0804 mail:mokele@rr.ij4u.or.jp <http://www.mokelembembe.net/>

後援：札幌市 札幌市教育委員会 北海道新聞社

貝原浩

(かいはらひろし 1947年～2005年)

岡山県倉敷市出身。ペン画、筆絵、鉛筆画など、さまざまな作風で活躍。いくつもの国や地域を旅して、風景や人物を描き続けた。雑誌イラスト、書籍装丁、ポスターデザインなどの仕事も多数。主な書籍には、『画文集 風しもの村 チェルノブイリ・スケッチ』『鉛筆画集 FAR WEST』『戦後50年100の肖像』『諸国どぶろく宝典』など。



『貝原浩画文集 風しもの村 チェルノブイリ・スケッチ』（パロル舎）、ポストカードなどを販売します。

■トークイベント5月26日(日) 14時～16時

「ベラルーシの人々の暮らし～原発事故から現代～」

ツァゲルニック タッチャナ：ベラルーシ共和国出身。

2006年来日し、現在は北海道大学にてアイヌのアイデンティティと言語の関係性を研究している。「在日本ベラルーシ人の会」のメンバー。

♥現地で育ったタッチャナさんのお話を聴かせていただきます。是非一緒に！

参加費：1,000円 要予約



作品・著作物についてのお問い合わせ先 kaiharaten@gmail.com 貝原浩の仕事の会

【岩見沢初展示】 風はどこから… 貝原浩「風しもの村 チェルノブイリ・スケッチ」

2024年5月10日(金)～19日(日)

会場：岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館

問い合わせ：ryo8848@gmail.com TEL.080-4337-7108 小松

kaiharaten@gmail.com 貝原浩の仕事の会

虹のしっぽ hot cafe ほっぺた館

札幌市南区簾舞4条3-4-25

tel&fax 011-206-0804 mail:mokele@rr.ij4u.or.jp

http://www.mokelembembe.net/

■駐車場：10台分。ご利用の方は事前にご連絡ください。

バス：○札幌駅「じょうてつバス26番のりば」…定山溪・豊平峡温泉行または豊滝行 乗車60分「東簾舞」下車徒歩5分

○真駒内駅「じょうてつバス4番のりば」…定山溪・豊平峡温泉行または豊滝行 乗車30分「東簾舞」下車徒歩5分

*「簾舞団地」行きのバスで終点「簾舞団地」下車からは徒歩で15分です。

